

文化・芸術

「街の人々」

1940年6月、インク、墨、水彩、紙
32.0cm×37.6cm（個人蔵）



松本竣介（1912〜48年）

「松本竣介デッサン」な雰囲気をもと、50が開幕しました。その絶妙な位置に配されている短い生涯の中で精力に描きつづけた多様なデッサンから50点を精選し、関連する油彩画16点を加えて覧いただきます。展示は、竣介が好んで描いたモチーフごとに6章に分けた構成としています。

1940（昭和15）年今紹介するのは、の二期竣介は、画面第1章「都会／郊外」から黒く繊細な線描を消し、色面のみの構成は珍しく即興的な筆致によって抽象化された郊外風景を描きました。本作では、そうした早い筆さばきでモノトーンの色を配し、墨作風の変化を予感させるかのよう、色面と黒を画面の手前と奥に大胆に置いています。線描のせめぎ合いが感じられます。（小此木）

《名画の扉》

大川美術館企画展「生誕110年記念
松本竣介デッサン50」から